



美川小コミュニティスクール ひまわり通信



令和4年度美川小学校は白山市コミュニティ・スクールのモデル校となり、令和7年度4年目のスタートをしました。

学校に「学校運営協議会」が設置された学校のことをコミュニティ・スクールといいます。協議会には、保護者や地域の方々が委員として参画し、学校の運営等に対して意見を述べ、反映させていきます。

少子高齢化や教育現場の多様化など社会の変化に伴い、地域の力も得ながら課題解決に導き、未来の創り手となる子どもたちの成長を、学校と地域とが一体となって支えていくことが求められています。



コミュニティスクールとは

◇令和7年度第1回学校運営協議会開催 5月23日(金)午前10時 美川小ランチルーム

今年度第1回目の学校運営協議会が5月23日に開催されました。最初に中野校長先生から「学校運営協議会」について説明があり、白山市教育委員会から各委員に辞令が交付されました。白山市内全小中学校に学校運営協議会が設置されコミュニティ・スクールが導入されています。

次に委員の自己紹介、会長・副会長の選任が行われました。今年度から新しく北嶋將光さんが委員になられています。その後、中野校長先生から美川小学校令和7年度の学校経営計画の説明がありました。

経営理念として、「子どもも保護者も教職員も安心できる学校づくり」をチーム美川として取り組んでいく、今年度は安心できるに重点を置きたいというお話がありました。学校教育目標は昨年と同様「社会とのつながりの中で学力そして豊かな心とからだを育てる」とし、児童一人一人が尊重され、安心して過ごせる環境の中で、社会とのつながりを大切に、学力、豊かな心とからだを育てることをすべての教育活動の基本としていくことの説明がありました。美川小学校学校運営協議会はこれを承認し、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)をいかし、地域に開かれた学校づくりを推進するとともに、学校・家庭・地域が連携・協働し、一体となって児童の成長を支えていくことを確認、共有しました。また、校長先生から美川の子ども達は落ち着いて学んでいること、元気にいろんな学年が混ざり合って、外で楽しそうに遊ぶ姿は素晴らしいことなどのお話もありました。

今年も、美川小学校、楽しみです。

令和7年度美川小学校学校運営協議会委員

会 長	沢田 真澄	みかわ子ども園園長
副会長	安立真佐美	美川児童館副館長
コーディネーター	二口 伸也	美川コミュニティセンター長
委 員	中野 和人	美川小学校校長
	勘村 圭一	美川小学校教頭
	北田 弘基	美川小育友会会長
	佐賀 一夫	元美川小育友会会長
	北嶋 將光	元美川小育友会会長
	平加 進也	美川まちづくり協議会副会長
	南 恵美	主任児童委員・民生委員

任期:令和7年4月1日～令和8年3月31日 (10名)



美川まちづくり協議会全体会の席上、中野校長先生から美川小学校の学校経営計画や目指す子ども像の説明がありました。美川小学校と美川まちづくり協議会及び地域が教育ビジョンを共有することで、学校と地域が知恵を出し合い、未来を担う子ども達の育成を目指します。

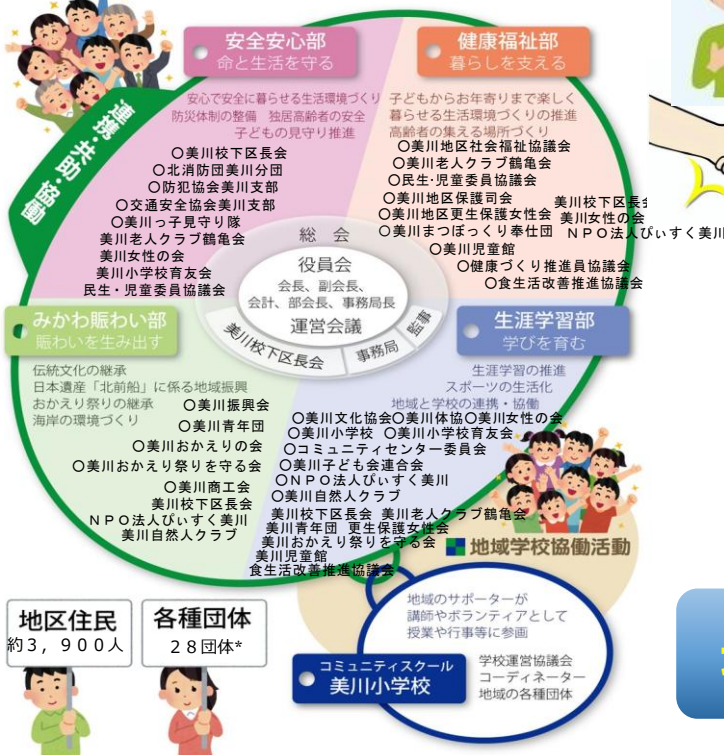
美川小学校が目指すコミュニティ・スクール



コミュニティ・スクールは、広く保護者や地域住民が当事者として学校運営に参画することを通じて、学校と地域の連携・協働体制が確立され、「地域とともにある学校づくり」や「課題解決に向けた取り組み」を効果的に進めることができます。

美川まちづくり協議会

目指す姿 歴史を紡ぎ、学びを育み、笑顔で永く住み続けられるまち



コーディネーター

美川小学校
コミュニティ・スクール

美川小学校学校経営ビジョン

共有
社会に開かれた教育課程

美川まちづくり協議会 おかえり

地域で見守る 応援団！

美川小コミュニティ・スクールを通して

学校

- ・地域に開かれた学校づくり(地域とともにある学校づくり)の推進
- ・教員の働き方改革の実現

児童

- ・地域全体で行う生徒指導⇒問題行動の減少
- ・学校だけでは得られない知識の習得や体験

地域

- ・地域学習等を通して郷土愛を育み、地域を担う人材の育成
- ・自分たちの地域は自分たちで問題解決するという意識の向上

こんな効果が
期待されます

地域学校協働活動とは

学校と地域とが連携して、地域の方々が、学校の運営や授業、行事などに参画することをいいます。

コーディネーターは、学校のニーズに応じて美川まちづくり協議会や各種団体、地域ボランティア、サポーターの方々との橋渡し役として活動します。



おはようボランティア
(通年)

田植え(5年生)

